

研究開発の概要

日本の高齢化問題やその対策としての社会保障や福祉分野での制度、個人の健康管理などについての調査・研究を行う。地元から日本さらに北欧、東南アジアと比較しながら、グローバルエイジング(地球規模の高齢化)を考え、諸課題の解決に向けて活躍できるグローバル人材を育成する。

学校教育目標

1. 心身ともに健康で、活力の成る生徒を育てる。
2. 自主的・自発的な学習を行い、自らの人格の陶冶を志す人を育てる。
3. 勤労を尊び、社会に貢献できる人を育てる。
4. 世界を舞台に活躍するグローバル人材を育成する。
[スーパーグローバルハイスクール(SGH)指定 H27~H31年度]

研究開発課題 『地域から考えるグローバルエイジング研究』(福祉と高齢化)

主対象生徒

- 1年生全員(地域フィールドワークの実施)
- 2年生(グローバルエイジングⅠ選択生徒)
- 3年生(グローバルエイジングⅡ選択生徒)

カリキュラム・マネジメント

2年次・3年次の選択科目に学校設定科目『グローバルエイジングⅠ・Ⅱ』(各2単位)を設置し、世界規模での高齢社会の問題解決に対して課題研究を実施し、各種提言やアクションプランなどを立ち上げる。
1年次の総合的学習の時間を1単位増加し、木曜7時限目を設定し、グローバル教育の知見を深める。

留学生との交流

留学生との交流を継続的に実施し、その実施形態と評価方法について研究する。
他国の社会や文化を積極的に理解・需要・評価する力の育成に取り組む。

ルーブリック・ポートフォリオによる評価

ルーブリックによる評価の結果を生徒に還元することで、受け身的である本校の生徒の新しい学びの契機となり、生徒が主体的・対話的に学ぶことで、思考力や表現力、協働的に問題解決に取り組む力などを身に付けられるよう学校全体で計画的・組織的に教育活動を展開し、アクティブラーニングの取組促進へと繋げる。
三年間の生徒の活動をポートフォリオに記載すると共に、成長の段階に応じた適切な指導を心がける。

テーマ 『アクションプラン 地域社会への具体的な提言』

高齢化

国際的な視点から、高齢化社会の問題点を捉え、地域社会から解決に向けての研究を深める。

急激な高齢化が進むアジア諸外国に向け、我が国の実情と経験を生かした持続可能な社会のためにできることを考察する。

福祉の充実

福祉の充実に向けた、「グローバル市民」としての資質の向上と使命感の醸成をはかる。

地域社会の問題点を研究し、地域活性化及び地域福祉の充実に関するアクションプランを提言し、プランの具現化を目指す。

研究開発の目的

- ①福祉教育をとおして、地域の課題から国際理解と国際協力の視点を蓄積する。
- ②多様な連携によりグローバルな社会課題を認識し、解決するための手立てを見いだす。
- ③プレゼンテーション能力を養成し、グローバルな視点で発信できる。

海外研修・調査活動

- ①海外フィールドワークⅠ(タイ王国) 邦人企業(パラマウントベッド等現地視察) JICA訪問・JOCV青年海外協力隊活動視察
- ②海外フィールドワークⅡ(スウェーデン) 高齢者グループホームなどの研修視察 ストックホルム大学見学及び学生との交流

専門家講演会

亀田医療大学・亀田総合病院への研修視察
都留文科大学 国際バカロレア講演会
筑波大学・城西国際大学との連携事業

研究開発組織

グローバル推進部を校務分掌に置く
一学年担当職員・海外交流アドバイザー
事務職員・事務補助員

地域連携

山武市 市民自治支援課・わがまち活性課
山武市社会福祉協議会
山武エコノミックガーデニング
山武市地域包括センター

- ①一年生全員による地域フィールドワークの実施
- ②一年生による『市への提言』
- ③山武市高校生スリランカ派遣研修事業への参加の推奨
- ④グローバルエイジングⅡの選択者による山武市社会福祉協議会でのアクションプランの提示
- ⑤さんむ出前講座の受講

英語教育

- ①英語力の評価
英検 IBA CSE スコアによる評価
千葉県ではグローバル人材育成への取り組みとして、平成27年度より英語教育の強化を目的に中学1年生から高校3年生を対象に、「英検 IBA」を活用した英語力の向上に県全体で取り組んでいる。また、グローバルな指標「英検 IBA CSE スコア」により英語力を測定する。
- ②山武市連携事業
夏季・冬季休業中に英語合宿を実施している。
- ③英語教育拠点校の指定
ALTが常駐し、日頃から英語によるコミュニケーション能力の向上に努めている。

グローバル人材の育成

- ①日本の魅力を理解し、国際貢献に取り組める生徒の育成
- ②主体的に高齢化問題に取り組む生徒の育成
- ③積極的に海外のことを学ぼうとする生徒の育成
- ④プレゼンテーション能力のある生徒の育成

普及活動と事業の継承

- (1) グローバルエイジングⅠ・Ⅱの教育教材としてのパッケージ化
- (2) 地域フィールドワークによる課題研究システムの構築
- (3) 地域人材を活用した学びの探求モデルの構築
- (4) 海外研修事業の継続的推進と学校設定科目「グローバルコミュニケーション」の深化と普及